Weekly 河北ウイークリー せんだい
発行●河北新報社
VOL.117
2009.9.3

うっとりみやぎの純米酒

イラスト　佐々木洋子

来週末は仙台の初秋の一大イベント「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」。さてジャズを聞きながらお酒を飲むとしたら何を飲む？　迷うあなたにご提案。この秋、日本酒片手にジャズフェス、がイケるんです。（よ）

昨年人気だった利き酒セット。今回は県内とも8銘柄から選べる

昨年の純米酒BARの様子。女性の姿も多い

県産酒ファンが企画

「おいしい宮城の純米酒、飲んでいきませんか？」。定禅寺ストリートジャズフェスティバルで、今年もそんな呼び声が聞かれるはず。宮城県の日本酒を提供する「純米酒BAR（バー）」が青葉区の錦町公園に登場するからだ。

昨年に続き2回目の出店。主催する「宮城純米酒サポーターズクラブ（MJSC）」は、宮城県内の日本酒ファンの団体三つが結束して生まれた、県産酒の応援団だ。

ジャズフェスの週末 純米酒BAR 錦町公園に登場

9月12日（土）
内ケ崎酒造店「鳳陽」
川敷商店「酒金庫」
中澤酒造「天上夢幻」
金の井酒造「洞庫」
萩野酒造「萩の鶴」
一ノ蔵「すず音」
勝山酒造「勝山」
阿部勘酒造店「松竹梅白梅」

9月13日（日）
岩沼醸造「海乃泉」
田中酒造店「真鶴」
千田酒造「栄勝山」
山和酒造店「山和」
内堀「登級内堀」
佐浦「浦霞」
寒梅酒造「宮寒梅」
天和醸造店「鶴の松島」

ところで、ジャズフェスと日本酒を結び付けた理由は？

「宮城県は、純米酒造りに力を入れていることでは全国でトップクラス。その地元の酒のおいしさを日本酒離れした若い人たちに知ってもらうにはと考えた時、仙台には『ジャズフェス』という若者に人気で、県外からの観光客も多いイベントがあるじゃないか、と」

そう話すのはMJSC代表の早坂久美さん。仙台の中心部が音楽一色に染まるスタイリッシュな雰囲気の中、手ごろな利き酒セット（500円）やオリジナルの日本酒カクテル（500円）で、県産日本酒の新しい魅力をアピールする。

オリジナルの日本酒カクテルもあります

来まるさん
アンガリー
（辛口ワイン酒にオレンジピールとシンプルに）
セントメンタル・ジャーニー
（ロック系、グレープフルーツ果汁とクリーミィーリキュール）
スターダスト
（ジーン系、甘し酸味ふわり入り）
エンジェル・アイズ
（ウォッカ系、アプリコットリキュールとトマトジュースで）
ムーンライトセレナーデ
（コーヒーリキュール系、パナマのリキュールとクセとて）

考案したショットバー「仙台坂」佐藤敦宗さん

日本酒好きな方が、素材料を混ぜたカクテルを受け入れてくれるのか正直不安はありましたが、日本酒を尊重しつつオリジナリティーを出そうと頑張りました。苦労したのは、日本酒のフルーティーで華やかな香りを消さないようにという点。日本酒でカクテルを作った経験がなかったので、発見があり刺激になりました。

昨年は2000杯も

手探り状態だった昨年は、当日までお客さんが来るかどうか不安だったそう。ふたを開けてみれば、二日間で約2000杯が売れ、用意した酒は底を突いた。

「日本酒好きの人たちが次から次にお客さんを連れて来てくれて。のんべえ力（笑）はすごいと感動しました」

今年は宮城県酒造組合の協力を得て県内の16蔵の酒を提供できることになり、早坂さんたちは張り切っている。

「ジャズフェスに来れば、音楽を聞きながらおいしい県産日本酒が飲める、ということが市民の間に定着するまで続けていきたい」。

問／☎090・9747・6360（早坂さん）

（3ページに続く）